

実施団体	太地町漁業協同組合
事業名	山を活かして、育てる太地の海
事業目的、内容	<p>漁業者の仕事場である海の環境を守り、海藻や魚介類の豊かな漁場を育むためには、豊かな森が必要である。しかし、私たちの漁場の上流の山々は、木材価格の低下等から放置された森林が多くあると聞いており、未来の海(漁場)の姿が憂慮されている。そこで次世代の子供達に、森と海の関わりの学習や木を使うことが森の整備に繋がることを知ってもらうため、外部講師を招いて、森と海との関係について、また、中学校近くの森での森林・樹木の学習を行った。更に、漁業協同組合員が補助しながら、生徒にベンチを組み立ててもらい、木に触れて木の良さを感じてもらう体験を実施した。</p> <p>参加者は太地中1年生 男子13名 女子15名 合計28名、及び、太地町漁業協同組合関係者等 17名</p>

